

研究課題 (テーマ)		富山湾近海の表層型メタンハイドレートを対象とした生産補助技術に関する研究	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	環境工学科	准教授	畠 俊郎
	高知大学海洋コア総合研究センター	教授	安田 尚登
研究結果の概要			
<p>5月に長崎大学水産学部附属練習船「長崎丸」の共同利用プログラムを活用した海洋実習を実施し、表層型メタンハイドレート胚胎層およびノジュールサンプルの採取を実施した。</p> <p>採取した表層型メタンハイドレート胚胎層およびノジュールサンプルを実験室内に持ち帰り、本研究において着目している固化能力を持つ微生物の探索を実施した。</p> <p>探索の結果から、日本海型の表層型メタンハイドレート胚胎層周辺には固化能力を持つ微生物がすでに存在しており、メタンハイドレートからメタンガスを生産する際に問題となる地盤工学的課題の解決に活用できることが明らかとなった。</p> <p>太平洋側で採取されたサンプルについても同様の試験を行い、提案技術は太平洋側・日本海側と問わず広く活用できる可能性が示された。</p>			
			
2016年度調査で採取したノジュールおよびハイドレートの写真			
今後の展開			
<p>表層型メタンハイドレートは富山湾内にでも存在可能な資源であることから、富山湾内での調査に加え、今回の調査で採取したサンプルを活用した生産補助技術の実用化につなげていきたい。</p>			